| 学校番号 | 109 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 論理国語 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 論理国語　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | ニューフェイズ　現代文２　（第一学習社）<br>入試頻出漢字データベース　頻出漢字熟語３０００　（第一学習社）<br>トータルサポート新国語便覧　（大修館書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まず自主的に学習しましょう。その上で
１、教材に興味を持つ。
２、作品構造を理解する。
３、作品全体の主題を理解する。
４、今回の学習を今後に生かす。
などに気を付けて文章を読み進めていきましょう。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力,人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。 | 「書くこと」,「読むこと」の各領域において，論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 世界・言葉・私<br>［教材］世界を広げる「批評」の言葉 | a：文や文章を効果的に組み立てたり接続したりする方法について理解を深めている。<br>b[読]：内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。<br>c：進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。 | テキストの音読<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>応答と発問<br>定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>意見発表の意欲と的確さ<br>振り返りシート |
| | 芸術と文化<br>［教材］ミロのヴィーナス | a：言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。<br>b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ 、論点を明確にしながら要旨を把握している。<br>c：学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | テキストの音読<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>応答と発問<br>定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>意見発表の意欲と的確さ<br>振り返りシート |
| | 共同体のいま<br>［教材］コミュニティから見た日本 | a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。<br>c：学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | テキストの音読<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>応答と発問<br>定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>意見発表の意欲と的確さ<br>振り返りシート |
| | 表現<br>［教材］統計資料から分析したことを書く | a：統計資料を根拠として読み手に納得してもらうための文章の構成について、理解を深めている。<br>b[書]：、根拠となる情報の妥当性・信頼性に言及しつつ、それに支えられる主張を明確に書いている。<br>c：学習活動に取り組む中で、自らの課題を把握し、その克服に努めようとしている。 | 記述の分析<br>ノートの整理 | 授業の取り組み姿勢<br>記述の分析 | 授業の取り組み姿勢<br>記述の内容と正確さ<br>振り返りシート |
| 二学期 | 科学の可能性<br>［教材］自己をモデル化する知能 | a：言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。<br>b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。<br>c：学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | テキストの音読<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>応答と発問<br>定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>意見発表の意欲と的確さ<br>振り返りシート |
| | 日本語の多様性<br>［教材］「方言コスプレ」現象 | a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 | テキストの音読<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>応答と発問<br>定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>意見発表の意欲と的確さ<br>振り返りシート |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | c:学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | | | |
| | 思考の枠組み<br>[教材]スキーマと記憶 | a:本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。<br>b[読]:本文の構成における具体例の役割について的確に理解している。<br>c:本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。 | テキストの音読<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>応答と発問<br>定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>意見発表の意欲と的確さ<br>振り返りシート |
| | 表現<br>[教材]調べたことをレポートにまとめる | a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。<br>b[書]:実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。<br>c:学習の見通しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめようとしている。 | 記述の分析<br>ノートの整理 | 授業の取り組み姿勢<br>記述の分析 | 授業の取り組み姿勢<br>記述の内容と正確さ<br>振り返りシート |
| 三学期 | 社会の原点 | a:言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。<br>b[読]:主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。<br>c:学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | テキストの音読<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>応答と発問<br>定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>意見発表の意欲と的確さ<br>振り返りシート |
| | [教材]分かち合う社会 | | | | |
| | グローバル化の先へ | a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。<br>c:学習課題に沿って、本文の小見出しにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 | テキストの音読<br>ノートの整理<br>小テスト・定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>応答と発問<br>定期考査の成績 | 授業の取り組み姿勢<br>意見発表の意欲と的確さ<br>振り返りシート |
| | [教材]世界は、いま<br>—「多文化世界」の構築 | | | | |
| | 表現 | a:書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。<br>b[書]:書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。<br>c:積極的に、学習課題に沿って、対比の構造をとらえて文章を書こうとしている。 | 記述の分析<br>ノートの整理 | 授業の取り組み姿勢<br>記述の分析 | 授業の取り組み姿勢<br>記述の内容と正確さ<br>振り返りシート |
| | [教材]対比して論じる | | | | |

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　２５　）時間
・読むこと　…　（　４０　）時間